

性 能 受 託 試 験 結 果 報 告 書

Titan Wood BV

Mr. Hal Stebbins 殿

本会の木材保存剤及び保存処理木材等の性能受託試験規程により、下記のとおり性能試験の結果を添えて報告致します。

平成 23 年 10 月 20 日

(社) 日本木材保存協会  
会 長



記

- |            |  |
|------------|--|
| 1. 品目 (用途) | Acetylated wood (exterior use, interior use) |
| 2. 試験対象物名  | Accoya (Acetylated wood-radiata pine)        |
| 3. 試験項目    | 野外防蟻性能試験                                     |
| 4. 試験方法    | JIS K 1571 : 2010 (注入処理用)                    |
| 5. 試験機関    | 木質複合材料研究会                                    |
| 6. 試験結果    | 別添のとおり                                       |

本報告は、(社) 日本木材保存協会が受託した試験の結果を報告するものであり、試験対象物の性能が認定されたことを示すものではない。

なお、この試験結果を公表する場合は、この試験結果報告書の全文を掲げ、抄録または他の事項を添記してはならない。

以上

平成 23 年 10 月 11 日

(社) 日本木材保存協会  
会長 今村祐嗣 殿

木質複合材料研究会  
代表 今村祐嗣



委託研究の結果について（報告）

先に依頼のありました委託研究の結果について下記のように報告します。

記

アセチル化木材の野外防蟻性能試験—JIS K 1571 注入処理用

（別紙記載の通り）

以上

平成 23 年 10 月 11 日

Titan Wood Inc. 殿



(財)建築研究協会  
京都大学名誉教授  
今村祐嗣



## Accoya Wood®の野外防蟻性能試験結果報告書

貴社よりご依頼のありました、アセチル化処理を施したラジアータパイン® Accoya Wood® の野外防蟻性能に関する試験結果を報告します。

### 1. 試験材料

依頼者が製造し、提供したアセチル化処理を施したラジアータパイン® Accoya Wood®。処理材と無処理材は同一のラジアータパイン製材の隣接部位より調整。処理によるアセチル化度（依頼者が実施している測定方法による値）は 19%。

### 2. 試験方法

日本工業規格 JIS K 1571 (2010)

「木材保存剤—性能基準及びその試験方法」

野外防蟻性能試験 : 5.3 防蟻性能 5.3.2 野外試験 5.3.2.1 注入処理用

### 3. 試験場所と期間

鹿児島県南さつま市金峰町 (財)建築研究協会野外シロアリ試験地

平成 21 年 8 月～平成 23 年 9 月

#### 4. 試験結果

##### 野外防蟻性能試験

試料名： アセチル化処理を施したラジアータパイン” Accoya Wood ®”

試験体	アセチル 化度 (%)	種 別	食害度		備考
			1年目	2年目	
処理	19	処理 1	0	0	
		2	0	0	
		3	0	0	
		4	0	0	
		5	0	0	
		食害指数	0	0	
無処理	—	無処理 1	0	30	
		2	50	100	
		3	100	100	
		4	50	100	
		5	30	50	
		食害指数	37	76	
アカマツ 辺材* (誘蟻材)	—		激しい 食害	激しい 食害	

\*アカマツ辺材の誘蟻杭は 30 x 30 x 350 mm

#### 5. 判 定

JIS K 1571 に定める性能基準（食害指数として 10 未満）を満たしている。



試験状況



無処理



処理